

# 第5回 大淀川水系 水防災意識社会再構築協議会 開催

大淀川流域等の関係機関が連携・協力し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設立し、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進しています。

第5回となる今回の協議会では、減災に係わる取組方針の実施状況をフォローアップし、関係機関で進められている主な取組内容について共有を図るとともに、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応等についても共有を図りました。

## 開催概要

- 日時：令和2年5月28日（木）
- 場所：宮崎河川国道事務所 別館3階会議室  
（一部Web会議での参加）

## 協議会 委員名簿

- 規約別表のとおり。

## 議事内容

- 規約改正
- 「減災に係る取組方針」フォローアップ
- 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について

## 委員の方の主な発言

- 【宮崎河川国道事務所長】本会議はH27年関東東北豪雨を契機とした会議であり、河川管理者だけではなく市町村、住民、企業等が水害のリスクを共有してそれぞれが主体的に行動し、大洪水というのは必ず発生するという認識を前提として社会全体で常に備える水防災意識社会を再構築していくことを目的としています。
- 【宮崎地方気象台長】気象防災ワークショップを開催しました。13市町村の参加がありまして、延べ80人程度の参加でございました。この防災気象ワークショップですけれども、防災情報を理解して有効に活用していただくということで、こういった取り組みをしておりますので、今年度につきましても宜しくお願いいたします。
- 【宮崎県】不動産関係団体の研修の場における水害リスク情報の解説を行っております。昨年度までに想定最大規模の浸水想定区域図を公表させていただいたところですが、宅地、建物の売買の際に相手方へ水害リスク情報を周知して頂くように協力をお願いしました。また、協力を依頼するにあたり、様々な水害リスクの内容や情報の見方等について不動産関係団体が実施しております研修会の場を活用し、河川課職員が説明をさせて頂いております。
- 【綾町長】綾町では、平成29年度から令和元年度までの3年間で防災行政無線の更新と町内全世帯3,000戸に個別の受信機を設置しております。また、聴覚障害者にも確実に届くように文字放送受信機も導入しております。
- 【杉尾アドバイザー】避難勧告や避難指示を出すときに、行政区域全般に出すと住民の皆さんは一番混乱しやすいので、危険な地域を特定しながらできるだけ細かく発令していただくのが一番いい方法なのではないかなと思っております。

